

# 刊行の辞

APAA 日本部会 会長 飯田 圭

アジア弁理士協会（The Asian Patent Attorneys Association: APAA）の日本部会（当部会）の50年史をここに刊行するに当たり、当部会の会長として、ご挨拶申し上げます。

まず、当部会の沿革や歴史を紹介させていただきます。ご承知のとおり、APAAは、日本の呼びかけに基づいて、日本、中華民国（現台湾）及び韓国の有志弁理士によって1969年12月に設立された、アジア広域における知的財産権に関する代理人の唯一の国際団体です。そして、当部会は、1970年3月30日に設立された、APAA会員である日本の弁理士によって構成されるAPAAの部会であり、その創設以来、50年に亘り、最大の会員数を擁する中心的な部会として、APAAの諸活動を支えるとともに、当部会独自の諸活動も行って参りました。この間、当部会は、歴代のAPAAの会長（湯浅恭三先生、猪股清先生、岡部正夫先生、浅村皓先生、吉田研二先生）その他の役員や特許・商標・意匠その他の常設委員会の委員長などを多数輩出するとともに、東京・大阪・横浜・神戸・新潟・福岡・沖縄の各地でAPAAの総会・理事会を成功裡に開催いたしました。また、当部会は、歴代の会長（上記先生方の他、佐藤一雄先生、西村輝男先生、丹羽宏之先生、社本一夫先生、松原伸之先生、橋本良郎先生、木戸一彦先生、竹内耕三先生、稲葉滋先生、越智隆夫先生）の下、毎年、定期的に理事会を開催し、各種委員会の活発な活動により、定期的な「お知らせ」・「ジャーナル」の発行、専門的な講演会・セミナーの開催、他部会や知的財産関係の官公庁・他団体との交流・連携、他のアジア諸国の知的財産法制・運用の調査研究などを積極的に行って参りました。この

ような当部会の沿革や歴史、特にこれらを支えられた表彰者・受賞者を含む多数の方々の多大なるご貢献について、本50年史における設立趣意書・写真その他の各種資料、委員会活動報告、年表などにより、改めてご確認頂ければ幸いに存じます。

次に、当部会の現状や体制を報告させていただきます。上記沿革・歴史を経て、当部会は、アジア弁理士協会の日本部会として、特許庁・知的財産高等裁判所・日本弁理士会などとも良い関係を築いております。また、本年5月現在、個人会員数605名を擁し、アジア諸国における経済の発展とそれに伴う知的財産制度の普及によりAPAA全体の会員数が2,300名、部会数が20部会を超えた昨今においても、依然として最大かつ中心的な部会として、他部会・他会員とも協力・連携しながら、APAAの理事会や委員会の諸活動を最大数の理事や委員をもって支え続けております。さらに、APAAに会長として勝沼宏仁先生さらには事務局長として竹内耕三先生を輩出するとともに、特許・商標・意匠委員会に共同委員長（永岡重幸先生、葦原エミ先生、齊藤純子先生）を送り出し、私自身も諮問委員会の委員を務めております。他方、当部会自体としては、本年5月より、新たに、私が会長として副会長（宇治美知子先生、樺澤聡先生、木戸良彦先生、水野祐啓先生）とともに、理事・監事・相談役・委員長・事務局等のサポートを得ながら、その運営に携わることとなりました。このような当部会の現状や体制が如何なる流れの中に位置付けられるのかについても、本50年史におけるご祝辞、組織図・人事その他の各種資料、委員会活動報告、年表などにより、ご理解頂けるのではないかと存じます。

最後に、当部会の今後を少しでも展望させていただきます。この点、世界各国において経済の発展に伴い知的財産法制・運用がより重要となっており、特に、その中心であるアジア諸国においては、今後とも、その傾向が益々強くなることが予想されます。また、第三次産業革命から第四次産業革命を経て、産業の発達に寄与する知的財産法は、益々、従来からの特許法・意匠法・商標法などに加えて、著作権法・不正競争防止法・種苗法・地理的表示法・IT法・ファッションロー・エンタテインメント法などをも含む知的財産法一般に広く深く及んでいくことが予想されます。さらに、知的財産制度の主たるユーザである企業においては、益々、従来からの知的財産の創造、知的財産権の取得・維持、異議申立・審判などに加えて、オープン・イノベーションやオープン&クローズなどにより、知的財産の取得・活用や知的財産関連紛争の解決などにも、その知的財産関連業務を拡

げていくことが予想されます。このような環境の変化の下、アジア広域における知的財産権に関する代理人の唯一の国際団体であるアジア弁理士協会における最大かつ中心的な部会である日本部会としての当部会に課された使命は、誠に大きく重いものと感じざるを得ません。ただ同時に、このように当部会に課された使命についても、本50年史に示された当部会の沿革や歴史に鑑みれば、その時々の環境の変化に応じて、これまで当部会が行ってきた活動や担ってきた役割の中にもこそ、これを果たすための手掛かりがあるようにも思われるのです。

私も当部会の会長として副会長とともに関係各位のご協力・ご支援を頂きながら当部会に課された使命を果たすべく努めて参る所存です。関係各位の皆様におかれましても、今後とも、当部会の活動により一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。